

種名	ミソサザイ <u>Troglodytes troglodytes</u>													
														
分類	スズメ目 ミソサザイ科													
特徴	よくとおる美声でさえずる、すばしっこい褐色の小鳥。日本では北海道から屋久島までの全国に分布し、主に山地で繁殖する。冬期は山麓や低山に移動するものもある。南大東島の亜種ダイトウミソサザイは特殊鳥類に指定されているが、現在の生息状況は不明。													
生活	ミソサザイは主に地上近くで行動する鳥で、岩や倒木の隙間、崖に現れた根の間を忙しく移動して、昆虫、クモなどを探しだしてついばむ。そのため、沢沿いの林や亜高山帯の針葉樹林のように地表にさまざまな凹凸があったり、蘇苔類が生えているようなはやしに特に好んで棲息する。一夫多妻の棲息習性をもつ。産卵期は5～8月、卵数は4～6個。抱卵日数は14～15日位。巣立ちまでの日数は16～17日位。													
声	繁殖期の初め頃からさえずる。川の中や岩や崖の下などでさえずることが多いが、時には木の梢にとまってさえずることもある。さえずりは大変複雑で「ピッツイッピルルル。ピーティピルピル」などと、細かな音を組み合わせて長く続ける。地鳴きは「チャッチャツ」という力強い声である。													
見分け方	尾を立てた独特の体形と、全身の斑のあるこげ茶色。													
時期：山地 ：低地	(月)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
	(月)	1	2	3	4	—	—	—	—	—	—	11	12	
その他	全長 (L) 11cm 翼開長 (W) 16cm													
参考文献：山溪カラー名鑑 日本の野鳥														